



10・11月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 公益財団法人茨城県消防協会  
編集発行人 消防協会長 葉梨 衛  
印刷所 富士オフセット印刷(株)  
1部 15円  
(購読料は年会費に含まれています)

# 全国女性消防団員活性化ちば大会に 本県から二百四十五名が参加

今年で二十回となる女性消防団員活性化大会が、千葉県浦安市の「舞浜アンフイシアター(第一会場)、浦安市総合体育館(第二会場)」などで開催されました。

この大会には、全国から女性消防団員や消防団幹部、関係消防機関等から約三千八百人が参加、本県では水戸市・土浦市・古河市・石岡市・龍ヶ崎市・常総市・常陸太田市・高萩市・北茨城市・笠間市・取手市・牛久市・つくば市・ひたちなか市・常陸大宮市・那珂市・稲敷市・かすみがうら市・桜川市・行方市・鉾田市・つくばみらい市・茨城町・美浦村・阿見町・河内町・利根町の女性消防団員等併せて三百四十五名、地元千葉県に次ぐ出席者が参加しました。

大会は、松戸市消防音楽隊によるウェルカムコンサートで開幕し、式典に続き四市町の女性消防団員による活動事例発表がありました。

昼食休憩を挟んだ午後の部は、四団体による火災予防啓発劇が演じられ、締め括りは、地元千葉県出身の女優・声優である市原悦子さんの記念講演「朗読とお話の世界」がありました。

その後、会場を「東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート」に移して情報交流会があり、参加した本県女性消防団員は、大会では聞けなかった活動事例や苦労話などを聞くことができ、今後の活動に大いに参考になったものと思われました。来年は、十月二十九日～三十日にかけて佐賀県において開催されますので、是非多くの女性消防団員に参加していただきますようお願いいたします。



平成二十六年秋の叙勲・褒章受章者が十一月三日付で総務省から発令されました。

本県からは、秋の叙勲が十二名、危険業務従事者叙勲が十五名、藍綬褒章が二

名、合計二十九名の皆様が受章の榮に浴されました。

伝達式は、秋の叙勲が十一月七日(ニッショーホール)、危険業務従事者叙勲が十一月十一日(日比谷公会堂)、秋の褒章が十一月十四日(スクワール麹町)にそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居内において拝謁も執り行われました。受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。

以下、順不動にて受章者の略歴等をご紹介します。

※( )は発令日現在の年齢

## 秋の叙勲

### 瑞宝小綬章

- 慶野 清(七十)  
元つくば市消防正監  
消防歴 三十九年六月  
つくば市在住

### 瑞宝単光章

- 飯島 義邦(六十七)  
元桜川市消防団団長  
消防歴 三十一年六月  
桜川市在住
- 石田 正勝(七十二)  
元常陸太田市消防団副団長  
消防歴 三十五年  
常陸太田市在住
- 加藤 昌次(七十二)  
元那珂市消防団副団長  
消防歴 四十一年三月  
那珂市在住
- 加藤 充(六十六)  
元石岡市消防団副団長

消防歴 四十二年二月  
石岡市在住

○鹿野島 定男(七十五)  
元水戸市消防団 副団長  
消防歴 四十五年五月半  
水戸市在住

○久下谷 公志(六十五)  
元日立市消防団副団長  
消防歴 四十年十一月  
日立市在住

○齋藤 隆(六十五)  
元筑西市消防団副団長  
消防歴 三十三年  
筑西市在住



秋の叙勲伝達式(ニッショーホール)

第二十三回危険業務  
従事者叙勲

瑞宝双光章

- 新川 与一(六十五)  
元 神栖市消防団副団長  
消防歴 三十六年二月  
神栖市在住
- 鈴木 廣美(七十四)  
元 高萩市消防団副団長  
消防歴 三十九年  
高萩市在住
- 矢口 明良(六十五)  
元 小美玉市連合消防団団長  
消防歴 三十六年  
小美玉市在住
- 吉田 博(六十五)  
元 常総市消防団副団長  
消防歴 四十四年四月  
常総市在住
- 相沢 武夫(六十五)  
元 常陸大宮市消防監  
消防歴 四十一年  
常陸大宮市在住
- 内田 三雄(六十五)  
元 鹿島地方消防司令長  
消防歴 四十一年七月  
鹿嶋市在住
- 海老澤 啓一(六十五)  
元 小美玉市消防司令長  
消防歴 四十一年  
石岡市在住
- 河又 清美(六十五)  
元 日立市消防監  
消防歴 四十二年  
日立市在住
- 栗山 繁(六十八)



危険業務従事者叙勲伝達式(日比谷公会堂)

- 元 稲敷広域消防監  
消防歴 三十八年四月  
龍ヶ崎市在住
- 高島 正二(六十五)  
元 取手市消防監  
消防歴 四十一年  
取手市在住
- 武石 篤美(六十五)  
元 水戸市消防監  
消防歴 四十年  
ひたちなか市在住

瑞宝单光章

- 川名 治雄(六十五)  
元 水戸市消防司令長  
消防歴 四十一年十一月  
水戸市在住
- 船橋 一二三夫(七十七)  
元 西南広域消防司令長  
消防歴 三十二年十月  
古河市在住
- 武田 芳雄(六十四)  
現 美浦村消防団団長

藍綬褒章

- 武士 鉄久(六十六)  
元 大子町消防監  
消防歴 四十年  
大子町在住
- 中村 治(六十五)  
元 取手市消防正監  
消防歴 四十一年  
つくばみらい市在住
- 根岸 寛次(六十六)  
元 西南広域消防監  
消防歴 四十二年  
古河市在住
- 馬場 富夫(六十五)  
元 鹿島地方消防司令長  
消防歴 四十年  
神栖市在住
- 宮本 賢志(六十六)  
元 日立市消防監  
消防歴 三十九年  
日立市在住
- 村上 幹男(六十五)  
元 東海村消防監  
消防歴 四十年九月  
東海村在住



野口団長が代表受領



受章された団長ご夫妻

- 消防歴 三十七年七月半  
美浦村在住
- 野口 来(七十一)  
現 神栖市消防団団長  
消防歴 三十四年七月  
神栖市在住

# 平成26年度 理事研修会を実施



遠野市消防本部前にて

今年度の理事研修会は、十月二十九日から三十一日の日程で、宮城県本吉郡南三陸町と岩手県遠野市をメイン研修先として、葉梨会長はじめ理事十四名、県立消防学校二名、事務局二名で研修会を実施しました。

宮城県本吉郡南三陸町

では、山内団長と佐藤課長補佐から東日本大震災に係る町の被害状況等について説明を受けました。南三陸町の被災経験から消防団の安全管理を含めた防災行政上の重要なポイントとしては、①想定は計算上の目安、②助かること・助かって助け助け合うこと、③備えること、④家族を基本とすること、⑤近所づきあいを大切にすること、との話を頂きました。また、消防団関係で印象深い内容とし

て、団員の命にかかわる津波時の水門閉鎖については、原則、団員は水門閉鎖を行わず、管理者の遠隔操作を基本とすることを方針とし、さらに、安全管理上情報確保が重要であることから、無線の整備に力を入れているとのことでした。

岩手県遠野市では、谷知消防長他消防本部職員から東日本大震災時の後方支援拠点としての活動や、遠野市消防団の現状について説明を受けました。後方支援活動についてはビデオ視聴と補足説明により当時の状況を説明頂き、消防団の現状については、消防団員数が全国的に減少傾向にあるなかで、遠野市は震災以降住民の防災意識の高揚により団員数は微増の傾向にあるとのことでした。

また、遠野市の女性団員は本県と違い本部や女性分団に属しているわけではなく、通常の分団で男性とともに男性と同内容の活動をしているという興味深い話も頂き、二市町での研修は、今後の本県の消防団活動を考える上で大いに参考となりました。

## 平成二十六年 茨城県女性消防団員 活性化大会を開催

平成十九年度の当協会総会(理事会・評議員会)決議『概ね三年程度で県内全市町村に女性消防団を結成する』を受けて、女性消防団の活動事例等を紹介しながら、女性消防団の結成を促進し、併せて県内女性消防団員の交流を促すため、昨年度まで計七回の「女性消防団結成促

進大会」を開催してきましたが、女性団員がいる市町村も四十四市町村中三十八市町村まで伸びてきたことから、今年度から大会名称を「女性消防団員活性化大会」とし、十一月二十一日、総勢約三百名参加のもと、茨城県庁講堂で実施しました。



研修の様子



太子町女性消防団員のパワーポイント紙芝居



常陸太田市女性消防団員の意見発表

大会では、最初に本県女性消防団員の中で知らない人はいない東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子さんに「応援団を増やせ！」地域ぐるみの消防団応援事業から」と題して、ご講演をいただきました。

次に、常陸太田市消防団の大串啓子さんから「女性消防団員としてできること」と題して意見発表をしていただきました。その後、太子町消防団部長の齋藤洋子さん他六名から「津波だ！いなむらの火を消すな」と題して、パワーポイントを使用した大画面での紙芝居風の寸劇を演じていただきました。

最後にパネルディスカッションを行い、

コーディネーターにはご講演いただいた東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子さん、パネリストには、下妻市消防団団長の富田光一さん、龍ヶ崎市消防団分団長の石引公子さん、水戸市消防団団員の磯部美登里さん、茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課課長補佐の瀬谷茂樹さんにお話し、約七十分間にわたり、消防団応援事業の実現にむけ、小澤さんの巧みなリードでお話しが聞け、参考になったと思います。

第二部は、会場を県庁二階のレストランに移し、恒例となった意見交換会が行われました。意見交換会では、泉生

活環境部長等の県幹部や小澤講師などにもご参加をいただいで、大いに交流を図ることが出来ました。この大会の成果を参考に、今後の女性消防団活動が充実発展されることを期待いたします。



パネルディスカッションの様子

編集後記

今年も残すところ僅かとなりましたが、皆様には寒さに向かって体調管理に十分留意され、引き続きご協力いただきながら事業を盛り上げていただければと思います。

なお、皆様からの寄稿文や様々な情報を心よりお待ちしておりますので、是非ご連絡ください。

また、広告掲載を募集しております(掲載料・掲載一回税込み五千四百円、掲載サイズについては誌面四頁の掲載広告を参照して下さい)。是非、ご連絡ください。(き)

全国シェアNo.1の消防車メーカー (株)モリタの各種消防自動車 常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。 その他の取扱品目 小型動力消防ポンプ・消防用ホース 救助資機材・潜水機材・消防用被服 防災用品・消防用品・消防資機材 茨城県代理店 有限会社 鈴木機 〒315-0014 石岡市国府5-2-25 TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic 自動火災報知設備 非常電源設備 自家発電設備 CVCF設備 FAX、パソコン パナソニック株式会社 特機商品代理店 株式会社入江電機工業所 本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号 TEL.029-224-4614(代表) FAX.029-224-4613 千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地 TEL.029-241-3636(代表) FAX.029-244-0540 土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号 TEL.029-821-8498(代表) FAX.029-822-6575

トーハツ 小型消防ポンプ 充実のVシリーズ V75ESからV10Fまで 豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。 消防ポンプ自動車 消防用ホース 消火器 消防服装 消防資機材用品一式 茨城県代理店 トキワ産業株式会社 水戸市東原3-6-24 TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360